

＜対策のポイント＞

政府戦略や政府方針で掲げる農林水産業に関する目標や目指す姿の実現に向けて必要な技術の研究開発を国主導で推進するとともに、研究成果の社会実装に向け、知財の活用を見据えた研究開発時からの戦略的な知財マネジメントの強化など、研究成果の社会実装に向けた環境整備を実施します。

＜事業目標＞

- 重要課題に対応する技術を開発し、農林漁業者等がその開発された技術を実践〔令和12年度まで〕
- 知財マネジメントの強化、アウトリーチ活動の展開により、農林水産業・食品産業にイノベーションを創出〔令和12年度まで〕

＜事業の内容＞

- 1. 研究開発** **847百万円**（前年度 1,284百万円）

政府戦略や政府方針で掲げる農林水産業に関する目標や目指す姿の実現に向けて必要な技術の研究開発を国主導で推進します。

  - ① **食料安全保障強化研究**  
生産性の抜本的向上や農業生産基盤の持続的な保全等に資する技術の研究開発を推進
  - ② **気候変動適応研究**  
温暖化に対する適応技術や将来の適地適作予測技術の研究開発を推進
  - ③ **輸出拡大研究**  
輸出先国・地域の規制やニーズへ対応するための技術の研究開発を推進
  - ④ **環境負荷低減対策研究**  
みどりの食料システム戦略の実現に資する技術の研究開発を推進
  - ⑤ **革新的技術創出研究**  
バイオテクノロジーを活用した革新的な技術の創出に資する研究開発を推進
- 2. 環境整備** **65百万円**（前年度 86百万円）

  - ① **戦略的研究開発知財マネジメント強化事業**
  - ② **海外・異分野動向調査**
  - ③ **先端技術の社会実装の加速化のためのアウトリーチ活動の展開**

（令和7年度補正予算）関連事業

- ・ 食料安全保障強化に向けた水稻の低コスト・多収栽培技術の開発
- ・ 輸出拡大に向けたニーズや付加価値の高い農産物の栽培・加工技術等の開発
- ・ スギ花粉米の実用化に向けた安全性・有効性の検証

＜事業の流れ＞



＜事業イメージ＞

研究開発	<p><b>①食料安全保障強化研究</b></p> <p>【研究内容】 頭首工のパイピング監視技術と農業用パイプラインの漏水のリスク評価・位置特定技術の開発 等</p> <p>【期待される効果】 予知保全による効率的な農業用水の安定確保を通じ、食料安全保障の強化に貢献</p>	<p><b>②気候変動適応研究</b></p> <p>【研究内容】 農業・水資源の被害や適地適作の予測、適応技術の開発 等</p> <p>【期待される効果】 気候変動リスク回避と温暖化によるメリット活用による産地維持・新産地育成を通じ、農林水産業の持続性確保に貢献</p>	
	<p><b>③輸出拡大研究</b></p> <p>【研究内容】 マウス毒性試験に代わるホタテガイ等の麻痺性貝毒の正確な濃度決定手法の開発 等</p> <p>【期待される効果】 EU等へホタテガイの販路を維持・拡大することにより、輸出拡大を実現 等</p>	<p><b>④環境負荷低減対策研究</b></p> <p>【研究内容】 農薬使用量削減に向け、薬剤を効率的に土壌深層へ浸透させる施用技術の開発 等</p> <p>【期待される効果】 みどり戦略に資する技術の確立を通じ、環境と調和のとれた食料システムの確立に貢献</p>	<p><b>⑤革新的技術創出研究</b></p> <p>【研究内容】 環境負荷軽減や低コスト化に資するカイコの創出、飼料等へのサナギ活用技術、革新的なシルクの開発 等</p> <p>【期待される効果】 資源を余すことなく活用するエコ養蚕システムの構築、新しい市場の創出 等</p>
	<p><b>①知財マネジメント強化</b></p> <p>研究成果の効果的な社会実装のための知財マネジメントを推進</p>	<p><b>②海外・異分野動向調査</b></p> <p>海外・異分野の最新の研究開発動向等を俯瞰的に調査</p>	<p><b>③アウトリーチ活動の展開</b></p> <p>先端技術をわかりやすく伝える動画等のコンテンツを作成</p>
	環境整備		